

2011年8月1日

環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦

担当ワーキンググループ主査 岡山 朋子

インドネシア国 西ジャワ州廃棄物複合中間処理施設・最終処分場・運営事業（有償 PPP）

最終報告書案に対する助言

### **助言案検討の経緯**

#### ワーキンググループ会合

- ・日時：2011年7月22日（金）14:00～17:30
  
- ・場所：JICA 本部（会議室：2階 229 会議室）
  
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、岡山委員、佐藤委員、田中委員、早瀬委員、平山委員、  
柳委員
  
- ・議題：インドネシア国 西ジャワ州廃棄物複合中間処理施設・最終処分場・運営事業（有償 PPP）最終報告書案についての助言案作成
  
- ・配付資料：
  - 1) インドネシア国 西ジャワ州廃棄物複合中間処理施設・最終処分場・運営事業ドラフトファイナルレポート（環境社会配慮部分）
  - 2) ドラフトファイナルレポート別紙 1～6
  - 3) 既存環境影響評価書（英訳・抜粋）

- 4) 既存環境管理計画（英訳・抜粋）
- 5) 既存環境モニタリング計画（英訳・抜粋）

・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

#### 全体会合（第11回委員会）

・日時：2011年8月1日（月）14:30～17:30

・場所：JICA本部（会議室：2階229会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

## **事業計画**

1. レゴックナンカ、ナンボ処理場における施設等の土地利用のデザインを明記すること。
2. ごみのサンプリング調査結果及び使用した資料の出典を明記すること。
3. バンドン市及び周辺地域から発生するごみのうち、レゴックナンカ、ナンボ処理場の処理能力を超えるごみの、想定される処分方法を報告書に記載すること。

## **選別・リサイクル**

4. 選別段階で分別された金属類・ガラス類・プラスチック類等の資源化可能物（有価物）はリサイクルする計画とすること。特に、プラスチック類についてはリサイクル方法を明記すること。
5. 選別段階で分別された有害廃棄物・危険物は、適正に処理される計画とし、処理方法を明記すること。
6. 前処理（分別・選別）作業にあたって、針などの混入による怪我及び感染症等リスクが高いためことから労働者の衛生管理には十分に配慮する計画とすること。

## **コンポスト化**

7. コンポスト化プロセスでは、プロダクツの品質管理のため技術者による指導の導入を検討すること。また、含有成分の分析も定期的に行い、モニタリングする計画とすること。
8. コンポストプロダクツの想定される用途を明記すること。

## **浸出水の地下水、表流水への影響**

9. 浸出水の地下浸透・地下水汚染を防止するために二重遮水シートの、強度、材質、耐久年数

を明記すること。

10. 浸出水処理水を排出するパイプラインの工法を明記し、環境社会配慮の評価対象に含めること。
11. 浸出水処理に際して、クローズドシステムの考え方を参照し、導入を検討すること。
12. 供用中、供用後の水質変化を適切に把握できるよう、水質調査地点設定や調査手法について配慮すること。
13. 処分場の後背地に関するデータを分析する等により、将来問題 となりやすい重金属や難分解性の有害物質を洗い出し、それらに関するバックグラウンド値を把握しておき、処分場の影響を受ける地下水、表流水等を定期的にモニタリングするよう努めること。

#### **大気汚染・悪臭**

14. 大気汚染及び悪臭に関して、労働者その他の非定住者等への影響も考え、環境への負荷を軽減するための対策を検討すること。

#### **跡地利用**

15. 現時点で想定される供用終了後の跡地の利用計画を明記すること。また、利用計画の最終的な決定に際しては、ステークホルダーの意見を反映する計画とすること。

#### **スカベンジャー対策**

16. スカベンジャーへのサンプリング調査の方法、結果について明記すること。
17. スカベンジャーの雇用計画を明記すること。
18. レゴックナンカ、ナンボ処理場で新規に雇用されると想定される労働者数を示すこと。

## モニタリング計画

19. 排水処理施設等の供用段階以降の維持管理状況のモニタリング計画を策定すること。さらに JICA の資金協力が行われる際には、モニタリング結果を JICA に報告する計画とすること。

## 住民参加・ステークホルダー協議

20. コミュニティ行動計画の内容について明記すること。
21. 市民や事業者による分別排出といった 3R 等の制度・体制構築と施設利用の最適化について、ステークホルダーの意見が政策に反映されるよう、西ジャワ州政府に提案すること。
22. ステークホルダー協議の内容を示し、実施プロセス、情報伝達、リスク周知の適切性を評価すること。特に女性への配慮が十分行われているかに注意すること。

## 廃棄物処理制度・キャパシティビルディングの提案について

23. 市民による分別排出などの取組（市民参加型 3R）をとりいれた廃棄物処理制度及び体制構築と施設利用の最適化システム構築のため、技術協力プロジェクトによる協力を含む多様な施策・ツールを検討し、西ジャワ州政府に提案すること。
24. 市民参加型 3R の実現可能性に関して、西ジャワ州政府、現地有識者等の見解や評価を報告書に明記すること。
25. 本事業関係者を対象としたキャパシティビルディングの計画案を策定し、（ベストプラクティスの視察等を含む）西ジャワ州政府に提案すること。
26. 重金属や難分解性の有害物質に関する住民の意識を向上し、廃棄物処理制度のソフト面の体制の充実を図るよう、西ジャワ州政府に提案すること。
27. 家庭ごみ等の排出段階における分別の取組（分別システム）を普及させるよう、市・県・州政府に働きかけること。
28. 州政府に対して、県・市や他の利害関係者と協議方式を取り入れた廃棄物処理に関するマス

タープラン等の計画の作成を働きかけること。

以 上